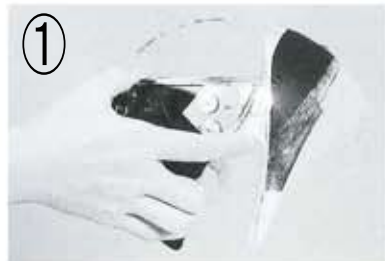


## かつらの被せ方 (弊社特許台金の場合に限ります)



① かつらの内部にはこのような台金と呼ばれるものが入っています。親指を輪金にかけ、人差し指をたぼ金に沿って上に滑らせ、台金の上部に置きます。残りの3本の指先の腹の部分を、たぼ金側面に添えます。



② たぼ金を添えた両手の指を軽く握るような感覚で持ち上げます。両手の人差し指で台金全体を広げもみあげを頭の幅より広く広げます。背後から頭の上を越えるようにかつらを前方に差しだし、たぼ金が後頭部に当たる直前で止めます。



③ かつらを手前に引きながら徐々に下に下げ、鏡を見ながら富士額的位置を合わせ、かつらが頭の上に載った状態にし、指の力を弱めてたぼ金を離し後頭部に付くまで戻します。



④ たぼ金を離れたままだと後頭部から離れた状態の時があります。(この状態では襟足の毛が出てしまいます。)



⑤ たぼの部分を下に伸びきるまで引っ張りそのまま後頭部に押し当て、下地の固まりがある場合には下から指を入れ、中に押し込みます。



⑥ 被せた後、かつらのびん尻の部分が手を入れたことにより開いてしまうので、手のひらでたぼに付くように押さえましょう。櫛目を入れるとより美しい。